

令和2年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第2学年

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて文や文章を書く力を身に付けさせる必要がある。 ・大事なことを落とさないように聞く態度、自分の思いをはっきり伝わるように話す力を養う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文を読み進める時に、順序を表す言葉や文章の構成をおさえる。順序に沿って簡単な文章を書くことを継続していく。 ○学習活動の中に、話し合い活動の場をできるだけ設定する。また、自分の意見を言うだけでなく、相手の意見を聞いて考えることの大切さを指導する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の習熟度に応じた指導を充実させる必要がある。 ・基礎的・基本的な学習内容を定着させる必要がある。 ・数量や図形の領域では、具体的な量感や図をイメージする力を養う必要がある。 ・道具を正確に扱い、測定や作図を丁寧に行えるようにしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交流の時間を増やしたりプリントの難易度を変えたりして、習熟度に合った授業内容を展開する。 ○導入で前時の復習を十分に行うなど、繰り返し学習内容に触れるようにしていく。 ○自ら予想し、その後実際に測定してみることで数量へのイメージをもてるようにしていく。 ○道具の正確な使い方を指導し、反復練習させる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然や動植物の成長や行動について、気付いたことを自分なりの方法で表現し、命を大切にしている心情や態度を育てていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発見カード等にかく時に、具体的な視点を示すことで、気付きを引き出す。 ○各クラスで生き物を飼い、より身近に命の大切さを感じ取れるようにしていく。
活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域に関する知識については、個々の経験の差があり、それを踏まえた活動や支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いに知っていることを発表し合い、全体で共有できるような導入を工夫していく。 ○実際に地域に出て見学したり、インタビューしたりするなどの体験活動を積極的に取り入れる。
図	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージをふくらませて表現することが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○掲示物、絵本などの活用、ICT機器等を用いた提示などにより、イメージをふくらませる時間を確保する。多様な道具・材料を使用していく。
工	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具・クレヨン・カッター・粘土等の道具の使い方・教材の片づけ方を丁寧に確認していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵の具やクレヨン等、道具の使い方と片付け方を、実物提示・ICT機器等を用いて視覚的にわかりやすく指導するとともに、初めて使うカッター・版画等の用具の使い方を確認していく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・固定器具（鉄棒やうんてい、登り棒）を使った運動遊びに、個人差が見られる。より多くの体験を積ませる必要がある。 ・「並ぶ・整列する」という集団行動を意識させる必要がある。 ・バランス感覚を育てていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○休み時間等の時間も利用し、固定器具に触れる機会を増やす。また、固定遊具の使い方をその都度確認しながら指導していく。 ○体育朝会の行進や朝会の整列でも、集団を意識をさせていく。 ○体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動遊びなどに、体のバランスをとる運動を積極的に取り入れ、自身の体を操作できるように意識させていく。

道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と児童の1対1のやり取りになってしまいがちである。意見をクラス全体に広め、共有していくことが課題である。 ・価値を一般化して日常生活にしっかり生かせるようにしていくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な意見を出し合えるように発問を吟味する。 ○児童が自分の考えをもち、意欲的に自信をもって伝えていくことができるように、書く活動を積極的に取り入れていく。 ○自分自身の生活を振り返り、よりよい自分の姿を考えさせるためにも、教師側が、意識して声掛けや掲示などを行い、道徳的心情を継続的に育成していく。
----	---	---